

NGR みんな地球のこどもじゃん presents 北海道☆プチ保養&検査ツアー 2012

「北海道☆プチ保養&検査ツアー」報告

11/23～11/28 までの期間を皆様からご支援により無事、保養と検査を行なう事が出来ました。
この場をお借りして感謝の言葉とさせていただきます。



さて、今回の保養&検査ツアーにおける報告になります。
私達のメンバー自身が福島からの避難者が多いため、今回のツアーに参加された方と早くから打ち解ける事が出来ました。NGRとしては札幌のホテルに到着時からの対応となりましたが、チェックイン前から子供達の元気な姿にホッとさせられました。



今回、私達が保養を企画する際考えていた事は、自分達が保養に行くならば、どのような保養を望むのかと言う所からでした。

- ・放射能を気にしないで済む環境の中で何も考えず普通の生活を楽しんでもらいたい。
- ・知らない土地でも行動しやすい場所で保養したい。
- ・北海道の良さを知ってもらいたい。

それ以外に、私達の活動の目的でもある、甲状腺の検査を受ける事を含めた保養にしたいとも考えていました。

現在も福島県では順番で検査を受けている状態に変化は無く、全員の検査が終わるまでにはまだ時間が掛かります。また、受けたとしても次の検査は未定であり、検査の詳細に至っては請求をしないと知らされない状況です。

今回の保養&検査ツアーの様子におきましては、参加者の方々からメッセージも頂いておりますので、そちらもご覧ください。

『北海道☆プチ保養&検査ツアー2012』日程別のご報告

2012年11月23日～11月29日

北海道札幌市にて『北海道☆プチ保養&検査ツアー2012』を開催しました。

「みんな地球のこどもじゃん」のご協力により、NGRとして初めて保養&検査ツアーを企画実施する事が出来ました。

日程別の詳細をご覧ください。

11月23日(金) 郡山駅～仙台港へ

NPO法人「みんな地球のこどもじゃん」が福島県郡山駅にて二家族と合流しバスにて仙台港へ、仙台港待ち合わせの家族と合流しフェリー乗船～苫小牧港へ。

11月24日(土)

- ・午前11時に苫小牧港へ無事到着。苫小牧からバスに乗り札幌市内のホテルへ。
- ・ホテル内のレストランにて昼食。
- ・検査日程の報告 など

「皆さんは緊張されているかなと思っていましたが、フェリーの中で楽しまれて来たようで打ち解けた雰囲気でもNGRとしての初日を迎える事ができました。」

11月25日(日)

- ・自由行動

「この日は検査の予定もないので、一日自由時間になりました。

各家族がそれぞれに北海道を満喫されていたようで良かったです。

中には旭山動物園へ直通バスで行かれた方もいました。それ以外にも大通公園では16:30からイルミネーションを点灯しているイベントが行われているため、ご家族で見に行かれた方も多かったようです。」

11月26日(月) NGR同行

- ・病院にて午前中検査。
- ・札幌市内の避難受け入れとなっている雇用促進住宅の見学。(希望者のみ)
- ・夜は狸小路の居酒屋にて福島県から避難している方々と交流。

「今回の保養では一切イベントを用意しないで進めていましたが、参加者から、みんなで飲みたいと声を掛けて頂き、北海道の美味しい物が食べられる居酒屋にて急きょ交流会を開催しました、一家族参加できませんでしたが楽しい時間を過ごさせていただきました。

話題はやはり放射能の事が主でした、その他はNGRのメンバーに福島から



の避難者が多いため福島の話で盛り上がりました。

参加者の言葉で印象に残っている話があったので書かせて頂きます。

・この子達が今生まれたことに意味がある人生にしてほしい。多くの人に助けられたありがたみを感じ、そういう大人に育ち、人に手を差し伸べることができる大人にきつとなるんだ...と涙ながらに語ってくれたお母さん

・本当の事を知りやっとスタートラインに立てました。現状を受け入れて初めてそこから始まると話してくれたお母さん皆さんのお話を聞き、NGRとしても改めて自分達が避難してきた時、避難を決意した時の気持ちを思い出しました。

また、北海道は福島県内全域からの避難を受け入れている事をまだ知らないご家族もいらっしゃるなどまだまだ情報が届いていないんだなと感じました。」

11月27日(火) NGR同行

・病院にて午前中検査。

「今回の参加者にお孫さん二人を連れて参加された方がおり、自由行動の範囲が限られてしまうのではと考え、北海道を楽しんで頂く為にNGRのメンバーが一日同行し小樽観光にご案内しました。

当日はあいにくの猛吹雪でしたが、小樽に到着するころには天気が回復し小樽運河からガラス細工などが並ぶ通りを歩く事ができました。北海道は綺麗だねえ、他にも色々と観光名所があつてまた来たいと話されていました。その後は、新さっぽろ駅にある水族館へ子供たちがヒトデを捕まえたり、ドクターフィッシュに手を吸われたりと元気いっぱい遊んでいました。」



11月28日(水) NGR同行

・病院にて午前中検査

・昼食「くるるの杜」

・フェリーに乗船するため苫小牧港へ

「いよいよ最終日、みんなが口々に初めは自由時間が四日間もあつて長いなあと思っていたけど、あつと言う間だったと言っていて北海道を満喫してもらえたのかなと、少しホッとしました。

今日は最終日と言うこともあり、NGRと参加者と一緒に昼食をとる事に、場所は北海道の食材をふんだんに使用したビュッフェスタイルのレストランへ。

こちらは野菜やお肉など北海道の物を扱う直売所が併設されていて、参加者の皆さんは自宅へ送ったりフェリーで飲むお酒を買ったりと賑やかなお買い物となりました。

昼食の際には、NGRのメンバーもほぼ全員集まり避難についての質問や連絡先の交換など、尽きない話で楽しんでいました。

大人たちが話している間、子供たちは外で雪遊びに大はしゃぎで、雪だるまを作ったり雪合戦をしたり、ビショビショになりながら遊んでいました。

苫小牧港に向けて高速を走っている時、参加者の子供から“おいちゃん おいらの事忘れないでよ”と言われ涙が出そうになったのはここだけの話しです。

皆さん無事に乗船し、明日の「無事に自宅に着きました」の連絡をもらうだけになりました。」

11月29日(木)

・午前11時に仙台港に到着。

「参加者各自から無事到着の連絡を頂き、今回の保養&検査ツアーを無事に終える事ができました。」



皆様のご協力によって、企画を無事終了する事はできましたが、新たな課題も見えて来るなどNGRとして貴重な経験となりました。

今も子供たちは線量の高い低いに関係なく、放射能が降り注いだ地で生活をしています。私個人の考えですが、放射能が体に良いのか悪いのかを考える前に何が起こるか分からないならば、ひとまず離れてみてはどうでしょうか、他道府県に保養でも避難でも構いませんが外から今の状況を冷静に見つめる事は福島県の為にも大切なのではないかと思います。

NGR代表 稲守 耕司

—参加者の皆様から頂いたお言葉—

福島県 S さん

子どもたちが、雪にまみれて遊ぶ姿を見て本当に幸せを感じました。道路脇のよごれた雪を食べたり、その辺のつららを舐めたり、地面にごろごろ転がったり…。しかし、放射能と比べたらどってことないと思え、北海道で、おおらかな気持ちで過ごせました。



今回、キャンセルが出たということで、参加に至りましたが、本当にありがとうございました
m()m

食べ物も美味しいし、北海道の人も親切で、避難されている方のコミュニティも形成されており、本気で北海道へ住みたくになります。主人とも話しましたが、今回は移住までには至りません。しかし、今回の検査結果を知り、長期で保養には必ず出ようと考えています。これまでは、福島と新潟を行き来してしまっていたのですが、今後も更にできる限りのことをしようと思います。

今回、検査がなかったら、単に、楽しい、リフレッシュのツアーだったと思います。エコー検査と血液検査があったことにより、改めて、定期検査の重要性と、危機感を感じました。検査を含めたこのプロジェクトを、今後もどうぞ継続してできることを望みます。お子さんを心配されているかた、危機感なく過ごされているかた、安心のためにも、今後の決断のためにも、沢山の方が受診できますように願います。

福島県 Y さん

このたびは北海道☆プチ保養&検査ツアーに参加させていただきありがとうございました。北海道で検査をしていただき、先生にも丁寧に説明いただいて安心できました。エコー画像や所見、血液検査の結果もプリントしていただいたので今後経過観察していくうえで大変ありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。

北海道で冷たい風を感じながら外を歩き、空を見上げ、雪の冷たさを感じながら解放感にひたりました。そんなあたりまえのことができない福島県の異常さも痛感しました。



今回北海道へ避難された方々と交流をさせていただいて私も北海道に部屋を借りるという選択ができました。まずはスタート地点に立てたので、これから経過観察と避難をしながらできることをしていきたいと思います。このツアーにかかわってくださった、すべての方々に感謝します。素敵なツアーありがとうございました。

福島県 H さん

北海道では大変お世話になり、ありがとうございました。

A 2 判定をもらったけど、2年後まで再検査の必要なし

の回答に戸惑いながらも、どこで検査をしてもらったらいいのやら…なやんでいたときに、このような企画を知り、大変有り難かったです。

このような機会をありがとうございました。

NGR

—募金のお願い—

NGRは募金により運営されている団体です。

私たちの活動の趣旨はホームページに掲載している内容となりますが、企画を進めている段階から出ていた意見として、今後はもっと保養が重要になって来るのでは無いかと言うことでした。それは、

- ・避難はしたいが色々な問題があり避難をしない。
- ・郷里を離れたくない。
- ・避難をしたくはないが、保養には行きたい。

などの意見はあるが、少しでも放射能から離れる事は大切だろうという事から出た意見でした。

また、検査以外にも、保養を通じてコミュニケーションを取る事で、より一層の支援に繋がり、少しではありますが不安を抱えたご家族の手助けができると考えています。

今回の「保養&検査ツアー」におきましては「みんな地球のこどもじゃん」他、数々の皆様からのご厚意の募金により企画を成功する事ができましたが、保養を行うためには費用が掛かるのが現実です。

今後もこの活動を続けて行くための募金のご支援をお願いします。

NGR事務局

〒064-0821

札幌市中央区北1条西21丁目3番32号

MDビル3F

代表 稲守 耕司

MAIL : ngr.sapporo@gamil.com

URL : <http://n-g-r.net/>

-募金のお願い-

ゆうちょ銀行
【口座名義】
エヌジーアール

ゆうちょ銀行から
【記号】19070
【番号】13413991

他金融機関から
【店名】九〇八
【店番】908
【預金種目】普通預金
【口座番号】1341399